



第257号
 編集・発行
 幸田中学校
 印刷
 大日印刷

卒業記念号



EXILE ÜSAさんと3年生で記念写真

つながりのなかで



校長 山中 剛

三年生の皆さん、卒業おめでとう
 ございます。九年間の義務教育を終
 えて、それぞれの道を歩む日を迎え
 られることを嬉しく思います。

皆さんと共に過ごすことができた
 のは一年間でしたが、幸中の伝統を
 引き継ぎ、新たな幸中を築いていこ
 うとする姿をたくさん見ることがで
 きました。

令和四年度を振り返ると、生徒会
 のスローガン「統(つなぐ)」のもと、
 「つながり」を大切にしたり多くの活
 動が印象に残っています。

共に汗を流し、磨き合った仲間を
 信じて、最後までベストを尽くした
 夏の大会やコンクール。「つなぐ思
 い、深める絆」をスローガンとし、
 最短の練習期間で創り上げた縦割り
 演舞。後輩たちに仲間と共に活動す
 る楽しさを伝えてくれました。幸中
 祭では、「紡(つむぐ)」のスローガ
 ンを掲げ、工夫を凝らした演出で盛
 り上げた舞台発表。様々な制約のな

かで、仲間と心を通わせて歌い上げ
 た合唱コンクール。三年ぶりにさく
 らホールに響かせた全校合唱「輝く
 ために」。そしてEXILEのÜS
 Aさんとのコラボダンスに向けての
 ライジングサンの練習。それら一つ
 一つの営みに、「みんなで一つのもの
 を創り上げよう」とつながる「幸中文化」
 を感じました。

コロナ禍で社会全体が閉塞感に包
 まれ、人とながめる場面が激減して
 います。しかし、そのような状況の
 中で、画面上や綴られた文字だけで
 は読み取れないもの、直接会うこと
 でしか感じられない小さな表情の変
 化や空気があることを改めて感じた
 のではないでしょうか。だからこ
 そ、ÜSAさんが皆さんに語って
 くれた「自分に向けていた矢印を、人
 に向けて動くことで、自分にエネル
 ギーとして戻ってくる」という言葉
 が、大切な意味を示してくれている
 と実感しています。

相手への「笑顔」「あいさつ」「人
 と共に活動すること」「人のために
 活動すること」そういったつながり
 のなかに人生を豊かなものにする答
 えがあると私は信じています。

この幸田中学校で培った「つなが
 り」の根っこを、さらに多くの人と
 の「つながり」に広げ、皆さんが更
 なる活躍をしていくことを心から
 願っています。